

〈関連企画〉

山の中の劇場 Mountain Theater

森や自然に生きることをテーマにした特別企画。鳥取県在住の俳優・中垣直久さんによる朗読劇『狼森と叢森、盗森』（宮沢賢治）と、中垣さんが主演した映画『新しき民』を上映します。中垣さんと山崎樹一郎監督のトークも開催。



中垣直久さん



『新しき民』

山崎樹一郎監督 / 2014年 / 日本 / モノクロ・パートカラー / 117分

300年前の真庭。津山藩山中で農民一揆が勃発した。農民・治兵衛は一揆に翻弄されながらも全てを捨てて村を出ること決める。人間の弱さや幸せ、生きることを見つけた異色の時代劇。

Time Table

★ こども向けプログラム ■ 託児可能

	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
8日・金							15:30- オープニングセレモニー		18:00-18:30 監督ティーチイン			
							16:00-18:00 『新しき民』		18:30-19:30 ★朗読劇『狼森と叢森、盗森』 (オープニングアクト)			
							16:30-17:55 +解説 10分程度 ★『古の王子と3つの花』				18:30-20:20 『アル中女の肖像』	
9日・土		10:00-12:00 『すべての夜を思い出す』				15:05-15:25 作品解説					18:00- シネマdeのみの @久世上町〜下町商店街周辺	
		10:00-11:20 +解説 10分程度 ★『父を探して』					16:00-17:50 『アル中女の肖像』		17:55-18:35 トークショー			
			12:20-14:15 『絶唱浪曲ストーリー』		14:20-15:00 監督ティーチイン						18:30-19:55 ★『古の王子と3つの花』	
10日・日		10:00-11:55 『絶唱浪曲ストーリー』										
		10:00-11:35 ★『ユキとニナ』				12:30-14:30 『すべての夜を思い出す』		15:30-17:00 ★こども映画祭+クロストーク				
			11:40-12:10 監督ティーチイン		14:35-15:15 監督ティーチイン						17:00-17:30 『おこんじょうり』<クロージング>	
			11:00-16:00 シネマルシェ									



真庭市勝山53-1



真庭市久世2581

Access

- 【電車】
◎JR岡山駅→〈津山線〉津山駅→〈姫新線〉久世駅 / 中国勝山駅
◎JR岡山駅→〈伯備線〉新見駅→〈姫新線〉久世駅 / 中国勝山駅
- 【バス】
◎JR岡山駅前 or 岡山天満屋バスセンター
→〈中鉄バス/中鉄北部バス〉久世駅前 / 中国勝山駅
◎大阪(梅田)→〈神姫 or JRバス〉津山駅
◎岡山方面から 岡山自動車道 経由 中国自動車道:落合IC下車
◎大阪方面から 中国自動車道 経由 米子自動車道:久世IC下車
- *真庭観光局HP : <https://www.maniwa.or.jp>
*岡山空港HP : <https://www.okayama-airport.org>

Ticket (高校生以下無料)

一回券 各プログラム		フリーパス 全日・全プログラム鑑賞可		シネマdeのみの 1枚でプログラム鑑賞可
前売り	当日	前売り	当日	会場にて販売
1,000円	1,300円	5,500円	6,500円	1セット 4,000円

託児あります ※要事前予約

3/1までにメールにてお問い合わせください

映画祭ボランティアスタッフ募集中!

受付や会場準備などをお手伝いして下さる方を募集しています

問い合わせ先 info@ngff.jp

New Garden Film Festival

2024

3 / 8 Fri.
9 Sat.
10 Sun.

Special Feature Ulrike Ottinger
Perspective Now
Weekend Ciné kids
KODOMO Film Festival

主催:ニューガーデン映画祭実行委員会 共催:真庭市立中央図書館
助成:真庭市 後援:真庭市教育委員会 / 真庭観光局 / 真庭いきいきテレビ / 真庭タイムス / 山陽新聞社
協力:ファンクテ/チャイルドフィルム/工藤雅子/ニューディアー/桜映画社/こども映画教室◎/
ぴあフィルムフェスティバル/東風/一揆の映画プロジェクト/ビターズ・エンド/中垣直久

M&K 銘建工業株式会社 中国林業株式会社



HP



Instagram



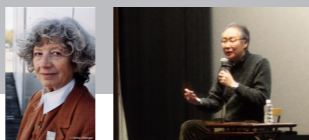
Facebook



X



オットィンガー、真庭に現る!

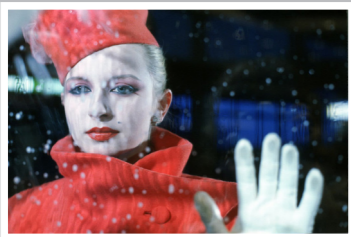


ウルリケ・オットィンガー監督

渋谷哲也さん

Special Feature Ulrike Ottinger

「ニュー・ジャーマン・シネマ」の時代から精力的に活動したウルリケ・オットィンガー。彼女の作品はフェミニズム映画やクィア映画の文脈で語られることが多く、既存の規範を揺るがす先進性がいま再評価されています。昨年日本で初公開され話題となった「ベルリン三部作」がこのたび真庭に初上陸! ドイツ映画研究者の渋谷哲也さんによる痛快な全作解説もお見逃しなく。



Bildnis einer Trinkerin, Photo: Ulrike Ottinger © Ulrike Ottinger

『アル中女の肖像』 3/8→18:30 3/9→16:00

ウルリケ・オットィンガー監督/1979年/西ドイツ/カラー/108分

飲むために生き、飲みながら生きる、酒飲みの人生。西ベルリンのアート、ファッションシーンのアイコン的存在であったタバア・ブルーメンシャインの爆発する魅力。R.W.ファスビンダーが「最も美しいドイツ映画」の一本として選出し、リチャード・リンクレーターが最愛の作品とした一本。



Freak Orlando, Photo: Ulrike Ottinger © Ulrike Ottinger

『フリーク・オルランド』 3/10→12:15

ウルリケ・オットィンガー監督/1981年/西ドイツ/カラー/127分

ヴァージニア・ウルフの小説『オーランド』を奇抜に翻案し、神話の時代から現代までが5つのエピソードで描かれる「小さな世界劇場」。ユニークな映像感覚の中に、ドイツロマン主義の伝統とブレヒトやアルトーなどの近現代演劇の文脈が息づく。



Dorian Gray im Spiegel der Boulevardpresse, Photo: Ulrike Ottinger © Ulrike Ottinger

『タブロイド紙が映したドリアン・グレイ』 3/9→12:30

ウルリケ・オットィンガー監督/1984年/西ドイツ/カラー/151分

伝説的なスーパーモデル、ヴェルーシュカ主演。デルフィーヌ・セリッグ、タバア・ブルーメンシャインらが特異な存在感を持って脇を固める。オスカー・ワイルド『ドリアン・グレイの肖像』や「ドクトル・マブゼ」などのモチーフを含み、パロックで、デカダンスで、ダダイスティックな独自の世界観を創り出している。

パースペクティブ・ナウ

Perspective now

ニューガーデン映画祭が目指す日本の若手映画作家にフォーカスし、真庭という場所から日本映画の可能性を考えていく重要なセクションです。浪曲の世界における芸の継承を親密な距離感によって捉えた『絶唱浪曲ストーリー』の川上アチカ監督、世代の異なる女性たちの一日の断片が響き合うさまを描いた『すべての夜を思いだす』の清原惟監督をお招きし、上映後にはティーチインも予定しています。



川上アチカ監督



© Passo Passo + Atsika Kawakami



清原惟監督



©2022 PFFパートナーズ(びあ、ネリプロ、日活)/一般社団法人PFF

『絶唱浪曲ストーリー』 3/9→12:20 3/10→10:00

川上アチカ監督/2023年/日本/カラー/111分

伝説の芸豪・港家小柳に惚れ込んで弟子入りした小そめが、晴れて名披露目興行の日を迎えるまでの物語。浅草・木馬亭を舞台にさまざまな人生が交錯し、ベテランから若手へ芸が受け継がれてゆく様を、親密な距離感によって捉えた話題作。

『すべての夜を思いだす』 3/9→10:00 3/10→12:30

清原惟監督/2022年/日本/カラー/116分

街の中に積み重なる無数の記憶と、誰かの一日が呼応する一。同じ場所、同じ時間に共存する、世代の異なる3人の女性それぞれの「ある日」。太陽の光が降り注ぎ、公園と団地がどこまでも続くかのような多摩ニュータウンを舞台に、人々の一見平凡に見える日常がいかに尊いものかを、あたたかく詩的な眼差しで捉えた。

こどもと映画の週末

Weekend Ciné Kids



諏訪敦彦監督 © Keta tamamura

こどもたちに世界各地の素晴らしい映画と出会ってもらうのを企図したWeekend Ciné Kids。豊かな想像力や感受性を育むであろう2本のアニメーション映画に加えて、諏訪敦彦監督がフランスの名優イボリット・ジラルドと共同監督した『ユキとニナ』を上映します。上映後、諏訪監督によるティーチインがあります。

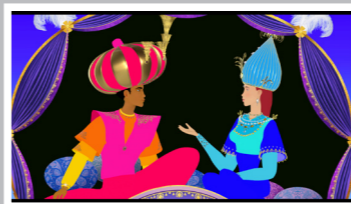


© Yoshi OMORI

『ユキとニナ』 3/10→10:00

諏訪敦彦、イボリット・ジラルド監督/2009年/フランス・日本/カラー/93分

ユキはフランス人の父と日本人の母とパリで暮らす9歳の女の子。両親が離婚を考えていることを知り、親友のニナと奔走する。やがて2人は深い森に辿り着き、大人になってゆく。世界が絶賛した美しい作品。



©2022 Nord-Ouest Films-Studio O - Les Productions du Ch'imi - Musée du Louvre - Artemis Productions

『古の王子と3つの花』 3/8→16:30

ミッシェル・オスロ監督/2022年/フランス・ベルギー/カラー/83分

エジプトからフランス・オーヴェルニュ、そしてトルコへ。古代・中世・18世紀のうっとりするような至福の旅。フランスを代表するアニメーション監督ミッシェル・オスロの最新作は、魅惑の古の世界へと観客を誘う。3つの異なる都市と時代を舞台に、自分を信じることで運命を変え幸福を手にする3人の王子のエキゾチックな物語。



『父を探して』 3/9→10:00

アレ・アブレウ監督/2013年/ブラジル/カラー/80分

ひとりで歩きだす、ほんとうの世界。全編、手描き・セリフなし! 第88回アカデミー長編アニメ賞ノミネート。父を探す旅は、やがて祖国ブラジルと、生きることを問う旅へ。親子3人で幸せな生活を送っていた少年とその両親。しかし、父親は出稼ぎにでるため、ある日突然、列車に乗ってどこかに旅立ってしまった。

こども映画祭

KODOMO Film Festival



国内外で活躍する映画の専門家とともに、こどもたちが映画をつくる「こども映画教室®」。真庭でも2023年に諏訪敦彦監督とこどもたちが一緒に映画をつくりました。諏訪監督と真庭で映画教育に取り組む山崎樹一郎らがこどもと一緒にクロストークも。そして映画祭クロージングとして、ストップモーションアニメ『おこんじょうり』を上映します。



©株式会社桜映画社 株式会社エコー

『おこんじょうり』 3/10→17:00

岡本忠成監督/1982年/日本/カラー/26分

アニメーションの可能性を追求し続けた映像作家・岡本忠成が、さねとうあきらの創作民話絵本「おこんじょうり」を原作に、浄瑠璃で病を治す狐と老婆の交流を描いた短編人形アニメーション。力強い浄瑠璃歌唱シーン、郷土玩具の泥人形や張子をイメージした人形造形、描画風セットなど、岡本監督の集大成的技巧が凝らされ、彼の代表作となった。